

JSCA九州メール版

発行：日本建築構造技術者協会九州支部
TEL 092-409-2905 / FAX 092-409-2934
Web Site : <https://jscakyushu.jp/>
E-mail : info@jscakyushu.jp



令和6年度 通常総会報告

JSCA九州支部「令和6年度通常総会」が5月17日、福岡市中央区の福岡ガーデンパレスにおいて開催されました。

司会の都筑設計部会長による定数確認の後、今林支部長挨拶で開会しました。

議長に江口達実様を選出され、令和5年度の事業報告・収支報告・監査報告、令和6年度新組織紹介、事業計画・支部予算について原案通り承認されました。

議長退任後、各地区会幹事の報告がありました。

詳しくはJSCA九州HP上の議事録をご覧ください。

https://jscakyushu.jp/data_note/soukai-R6



江口議長と執行部



今林支部長挨拶



総会の様子

35周年記念事業（支部功労者表彰）

総会終了後、35周年記念事業として支部功労者表彰式が行われました。長年にわたり正会員としてJSCAおよび九州支部の発展に尽力された19名の方々が、その功績を称えられ、九州支部功労者として表彰されました。



表彰式①



表彰式②



功労者の皆様



功労者代表ご挨拶（宮崎地区会 川越様）

記念講演会

主題 「建築設計過程における建築家と構造技術者との協働」
講師 金田 勝徳 様



金田勝徳氏



超満員の記念講演会

高校時代に出会われたという山本学治著「現代建築と技術」の内容から、主題にもある「協働」についてや、あるべき協働関係として「討議」の重要性についてお話し頂きました。その実践として金田氏が携わられた4つの事例を紹介頂きました。

「京都府立京都学・歴彩館 設計：飯田善彦（写真下）」では、4つの用途が異なる箱(街区)に大屋根を掛けることや京都らしく細かい構造部材を露出という設計者から要望に応えるために工夫した点などをお話し頂きました。

「大熊町学びの舎ゆめの森 設計：飯田善彦」では、福島第一原発事故からの復興拠点として、従来のインフィルがスケルトンに従属する関係を否定し、三角形を連続させた平面プランにより、自由で魅力的な空間が出来上がった過程をお話し頂きました。

「横須賀美術館 設計：山本理顕」では、ただ作品を鑑賞するだけでなく、誰でも利用出来る滞在型の美術館として、ガラス面の外皮と曲面鉄板の内皮の両方を構造体として設計され、特徴的な外観を作り上げた際のご苦労を紹介頂きました。

「横浜市立子安小学校 設計：山本理顕」では、生徒数1300人のマンモス校でありながら地域コミュニティの場を目指すという相反するテーマを、開放的な廊下・教室空間や、PCaPCのフレームによるテラスによって実現され、運動会などでの地域との交流の様子まで紹介頂きました。

参加者の方々は、講師の興味深い発表に真剣に耳を傾けられていました。



ご講演の様子

懇親会 報告

総会、支部功労者表彰式および記念講演会終了後に、多数の正会員、賛助会員およびご来賓の皆様が集い、安達亮平さん(青年部会長)の司会で懇親会は盛大に催されました。



懇親会の様子



ご来賓の皆様



JSCA 九州 支部長
今林 光秀 挨拶



来賓(公社)日本建築家協会九州支部 副支部長
佐々木 寿久 様 挨拶



来賓(公社)福岡県建築士会 福岡地域会代表
上田 眞樹 様 乾杯ご発声



工業組合 福岡県鉄構工業会 理事長
鶴田 陽一 様 万歳三唱ご発声